

1 今年度の取組（セミナー・勉強会）の方向性（ねらい）

PPP の普及啓発・意識向上 ⇒ PPP に関する理解や参画する意義を促す取組を行う。

対話の実践 ⇒ 具体的な事業等を通して市と民間事業者との間で対話を実践する。

ノウハウの習得 ⇒ 具体的な PPP の事業手法を習得する。

民間事業者とのネットワーク形成 ⇒ 市内外の民間事業者とのネットワーク形成に向けた取組を行う。

2 組織構成と役割

●事務局（運営に関する企画立案）

川崎信用金庫、横浜銀行（地元企業へのチャネルを活用）
 (株)日本政策投資銀行、(株)PFI 推進機構（最新のノウハウを活用）

●コアメンバー（市内事業者への情報提供・参加促進）

建設業協会など、市内業界団体等 10 団体

3 今年度の取組の経過（事務局会議・コアメンバー会議）

4月19日事務局運営会議（1回目）

【主な意見】

- PPP の取組を推進していくのであれば、市としての取組方針を民間事業者に明確に示すべき。
- 他のプラットフォームをでは具体的な案件の紹介や地元企業からの説明に、参加者が興味を持っている。
- PPP はよくわからないという地元企業に対しては、地元で PFI などの案件を請け負った企業の講演が効果的である。
- 対話の手法として、最近はグループディスカッションを採用している事例もある。 など

6月3日コアメンバー会議（1回目）

- 地元企業として建物を建てることは出来るが、施設を運営するノウハウや事業者との接点が無い。
- 川崎市の民間活用の具体的な案件について紹介して欲しい。
- 今回の市の取組には興味がある。他都市で PFI 案件を積極的に行っている企業があれば話を聞きにいきたい。



○セミナー及び勉強会については、事務局及びコアメンバーからの意見を構成に企画。今後も、セミナー・勉強会においてアンケート調査等を行い、意見を反映しながら取組を推進していく

4 今年度の具体的な取組

PPP プラットフォームセミナー① 【市内外事業者向け】	
日時：令和元年9月4日（水） 13:05～16:45（3時間40分）（予定） 会場：川崎市コンベンションホール、参加者250～300名程度	
第1部	
●川崎市PPPプラットフォーム設置の目的など【川崎市】〈10分〉	
●PPP 事業取組みに向けた川崎市の考え方【川崎市】〈20分〉	
講演内容（案）	<ul style="list-style-type: none"> ○厳しさを増す市の財政状況 ○人口動態を踏まえた老朽化する施設への対応という市の課題 ○民間活力の導入による市民サービスの向上というメリット ○民活に関する市の方針 など
●川崎市の民活予定案件の紹介【川崎市】〈60分〉	
講演内容（案）	○川崎市の民活事例紹介（近々に予定される候補2～3件を紹介）
第2部	
●パネルディスカッション〈75分〉	
テーマ（案）	○官民連携を進める上で、民間と行政にこれから何が求められるのか など
パネリスト	○川崎市長、民間事業者（複数）など
目的・進行方法	<ul style="list-style-type: none"> ●民間活用に関する興味を持ってもらう ●川崎市の考え方を理解してもらう
○目的は、セミナー参加者の民間活用への理解や興味、ハードルを下げることなど	
○ディスカッションの前に、パネリストが自らの経歴等について各5分程度説明	
●交流会〈15分〉	
○民活予定案件毎に集まり名刺交換など	

- セミナー②③（今年度11月、2月に実施予定）においては、地元企業による講演や、案件形成に向けたグループディスカッション、市の民活予定案件の紹介及び意見交換を行う予定。
- 勉強会①～③（今年度10月、12月、3月に実施予定）においては、地元企業及び市職員向けに、PPP の知識やノウハウの習得を目的に、識者等による講演や民活予定案件等を用いたグループディスカッション等を予定。